

板垣祥司氏

ノーマンジャパン(株) 取締役 マネージングディレクター

ブラインドやウッドシャッター、シェード、スクリーンといった窓周り製品の分野で世界トップクラスのシェアをもつノーマングループ。その日本人として2012年に設立されたノーマンジャパン(株)は、現在、レジャーホテルをはじめとする各種商業施設への製品展開に注力している。バラエティ豊かなデザイン性と高い機能性を併せもつ同社の製品は、レジャーホテルの非日常空間の演出に大いに役立つだろう。同社取締役でマネージングディレクターの板垣祥司氏に話を伺った。

豊富なデザインと高機能の
ブラインド、ウッドシャッターを提供

—ノーマンジャパンがレジャーホテル業界に注力している狙いを教えてください。

板垣 ノーマングループは欧米を中心に20以上の国と地域で愛用されている世界トップクラスの窓周り製品メーカーですが、その多くが住宅向けの家庭用製品で占められています。2012年に日本人としてノーマンジャパンを設立。その後、事業拡大を目指し、住宅向けだけではなく各種ホテルを含めた商業施設に向けた製品も手掛けていこうということになりました。業界向けの展示会などにも積極的に出品し、おかげさまで大きな反響をいただいたのですが、ラグジュアリーホテルやビジネスホテルへの導入はなかなか進みませんでした。日本独特の商流が根強く、日本進出間もない外資系企業として参入が難しかったのです。

そんなときに出会ったのがレジャーホテル業界でした。レジャーホテルは非日常空間を提供するための施設であり、1棟のホテルのなかにデザインや意匠を凝らしたバラエティ豊かな客室が存在し、お客さまを楽しませます。弊社のブラインドやウッドシャッターといった製品もバラエティ豊かなデザイン性と機能性を

備えています。特殊形状や特色にも対応できるNORMAN®のウッドシャッターは、開口部のデザインに無限の可能性を与えます。まさにレジャーホテルにはぴったりの製品だと考えました。

レジャーホテルをリニューアルする際には、一般のホテルのように全室を同じデザインや機能に統一するケースは少ないので、たとえばどこか1部屋だけ弊社の製品を導入して差別化を図るといった提案の仕方もできます。ホテルオーナーさまやデザイナーさまにとっても客室内の雰囲気を変え、付加価値を創出するうえで、弊社の製品は非常に使い勝手がいいと思います。

—近年は、レジャーホテルにおける窓の機能に対する考え方も変わってきています。

板垣 そのようですね。従来、とくに都市部のレジャーホテルは客室内に窓がない作りのものが多く、そのなかで擬似的な窓の意匠を表現するために、デザイン性の高いブラインドやウッドシャッターなどは非常に使い勝手のいい素材といえます。

一方、近年ではレジャーホテルの客室内にも開放感をもたせるために窓を設けるケースが増えており、また新型コロナウイルスの影響で客室内の換気をしたがるお客さまが増えるなかで、レジャーホテルにおける窓の機能が再認識されつ

つあります。高品質で機能性に富んだ弊社の製品は、そうした新時代のレジャーホテルづくりにもお役に立てると考えます。

デザイン性の高い日本のレジャーホテルは、いまやラグジュアリーホテルやシティホテルといった他の宿泊業態からも注目されており、国内外のホテル事業者から参考にされているという話も伺っています。そんな日本のレジャーホテルで弊社の製品を導入していただくことで、そこからさらに広い業態に事業を拡張できるのではないかと狙いも、弊社にはあります。

窓周り製品の業界で34年
海外勤務など豊富な経験活かす

—板垣さんはどのようなキャリアを歩んでこられたのですか。

板垣 ノーマンジャパンに入社する前に別の大手ブラインドメーカーにおり、窓周り製品の業界歴はトータルで34年になります。

前の会社では最初は経理畑で働いていました。入社3年目にアメリカの子会社に向向となり、4年間アメリカで生活しました。現地ではトラブル処理なども任されているいろいろ大変な経験もしましたが、長距離恋愛をしていたいまの奥さんと社内結婚をし、子どもをもうけて日本に戻ってきました。

設計・デザイナーさまのユニークなアイデアを 具現化するお手伝いをさせていただきます



1963年東京生まれ。高校卒業後、寿司店に就職し実践的なビジネスに触れる。その後、大学でより専門的なマーケティング理論を修得し、大手ブラインドメーカー勤務を経て、2019年1月ノーマンジャパン入社。

会社名/ノーマンジャパン(株)
本社/東京都渋谷区千駄ヶ谷5-23-15 A-PLACE代々木3F
設立/2012年
事業内容/ウィンドウトリートメント製品の企画、販売、取り付け等
URL/<https://www.norman.co.jp/>

帰国後しばらくして営業の管理部門に異動となり、そこでさまざまなお客さまと接点を持ち、付き合いが広がりました。さらに輸出入を手掛ける子会社に常務として入社し、営業部長、代表取締役を務めました。実はそのときに、ノーマングループとも知り合いました。グループの現社長とはそれ以来の付き合いとなります。

——ノーマンジャパンに入社したのは。

板垣 19年1月1日付けで入社しました。肩書きはマネージングディレクターとなっていますが、外資系なので組織にしばられることなく、なんでもやっってくださいと言われてました。前の会社で多少人脈があり、また海外でも仕事をしていたので、そうした経験を活かした活動をしています。現在は、展示会出展などの企画立案などを手掛けています。

▶ 休日にはマリンスポーツ
▶ 最近はSUPサーフィンに夢中

——休日はどのように過ごしていますか。

板垣 私は多趣味な人間で、いろいろなことに手を出しているのですが、いまはマリンスポーツが好きですね。本格的に取り組みはじめたのは40歳を過ぎてから。最初はサーフィンに夢中になり、その後はシーカヤックなどもやるようになりました。最近ではSUP（スタンドアップパドル）サーフィンにはまっています。



趣味はマリンスポーツ。休日には奥さまと一緒に、ときに愛犬を伴って、SUPサーフィンを楽しむ

す。これはサーフボードよりも一回り大きいSUPボードの上に乗って、パドルで漕ぎながら波に乗る、新しいスタイルのサーフィンです。もっとも私の場合、ボードのうえで立つことはせず、大きめのボードに奥さんと犬とタンDEMで乗かって、のんびり浮いているだけなんですけどね（笑）。

子どものころからスポーツは好きで、中学・高校のころはバスケットボール部に入っていました。でも、高校のときは部活の監督と大喧嘩をしてしまって、途中で部活をやめてしまいました。当時から反抗心が強かったんでしょうね。

——では最後に、あらためてレジャーホテル業界に対してアピールをお願いします。

板垣 弊社はブラインドやウッドシャッターのほかに、シェードやスクリーンといった幅広い製品を手掛けています。

デザイン性と機能性に優れたこれらの製品は、窓周りでの活用だけでなく、客室内の間仕切りなどさまざまなシーンに活用していただくことができ、非日常空間としてのレジャーホテルの空間演出に大いに役立つでしょう。

とくにレジャーホテルの設計・デザイナーの皆さまには、ご自身のイメージを大きく膨らませ、ユニークなアイデアを具現化するためのお手伝いができると考えています。実際、すでにいくつかの設計事務所さまからお声掛けをいただき、レジャーホテルへの弊社製品導入の話が具体化しつつあります。私たちメーカーの人間が思いつかないような斬新なアイデアが生み出されるのではないかと、私も期待しているところです。

安全性・耐久性にも優れていますので、ぜひ一度導入をご検討ください。

——本日はありがとうございました。